

### 1. 4年連続「寄付0ゼロ」ゼロを達成の見通し

地区財団ニュース2月号で、寄付ゼロクラブが、1件発生の見通しと報告しましたが、関係者の理解と御協力の結果、4年連続で「寄付ゼロクラブ」ゼロを達成できる見通しと成りました。

皆様の御理解と御協力に対し、厚く御礼申し上げます。

### 2. 国際親善奨学生関係

2月号にて、3名の候補者が準備中と報告致しましたが、そのごの進捗状況は下記の通りです。

- 1) 寺前 裕子さんは、2年目のニューヨーク側引き受けクラブの見通しが付きつつあり、申請書の作成も順調に進んでおります。御本人が相手先に好印象を与えていることも、順調に事が運んでいる大きな要因だと思っております。
- 2) 園田 裕明氏は事前審査の論文が無事合格し、現在英国の関係地区財団委員長に受け入れをお願いしている段階です。
- 3) 貴山 楓子さんは、米国難関大学の一つである、Tufts 大学に合格し、現在グローバル・グラント奨学金申請の為の事前審査用論文を作成している最中です。

財団委員会奨学金担当と関係クラブが連携し、日本ロータリー財団室の支援を受けながら、全員の派遣を目指して奮闘中です。

### 3. 財団学友会開催の件

3月18日、筑西アルテリオに於いて、日本学友会会長 松下衛氏 (神戸東 RC)、同会幹事 高木直之氏(かながわ湘南 RC)及び栃木学友会からの御参加を得て、当地区学友会会長 潮田武彦氏主催により、活動方針、事業計画などの紹介、世界ウィグル会議日本全権大使 チュール・ムハマド氏からの特別講演などが行われました。現在我が学友会には、奨学生=219名、GSE=115名が居る筈です。GSEは従来の方式では実施されて居ません。

奨学生は、奨学期間が終わると関係が極めて疎遠に成って居ります。この貴重なパイプを活用する為には、財団学友会が中心に成って、各クラブと奨学生のパイプを奨学期間を終了しても繋いでゆく必要があると強く感じました。是非各クラブの御理解と御支援、御指導をお願い致します。

(右上写真=財団学友会：潮田会長挨拶)



### 4. 補助金 (Global Grant) 関係

昨年11月号で報告した今年度実施計画の一つであった D.3810 への「移動式レントゲン装置の導入」プロジェクトの「MOU」締結が、D.3810 の Metro Dasmariñas RC と龍ヶ崎 RC の間で実施されました。4月初旬より、申請書の提出、各種承認が行われる所まで来ました。関係者の皆様の御理解と御協力に感謝します。

### 5. 地区補助金管理セミナー開催の件

3月12日、筑西ダイヤモンドホールに於いて次年度幹事に御出席頂き、主に、保延年度の地区補助金の活用の仕方を中心に、補助金申請書の書き方の具体的な教室を含めて、御理解を深めて頂いた。

次年度の特徴は、臨時費を減らし奉仕費への配分を増やした事。1件当たりの配分上限額を\$2,500 とした事。複数クラブが一つのプロジェクトに取り組める様にした事。

### 6. 野生株ポリオ症例数

国	2017-	2016	2015
	3-22		
パキスタン	2	20	54
アフガニスタン	2	13	20
ナイジェリア	0	4	0
赤道ギニア	0	0	0
世界合計	4	37	74

### 7. その他

3月号の発行が、海外出張の為遅れました。御詫び申し上げます。

以上